

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見

### ■まちづくり

- ・住民は、行政に要望すれば何でもやってもらえるのではないかと思いがち。
- ・若い人が蓮田に住めるような、住みたくなるようなまちにしていくことが良いのではないか。
- ・高齢層にお金を使わず子育てにお金を使ったほうがまちがよくなるのではないか。
- ・安全、安心、緑あふれる、子育てがしやすい(費用無料化)などの福祉を増進してほしい。
- ・駅から徒歩20分圏内は人口が増えている。
- ・他地域(白岡など)との差別化を意識しすぎている。
- ・産業に従事している人とそうでない人がおり、県との連携の見直しも必要。
- ・自治会を離れた人にも広報が届くような取り組みがほしい。
- ・広い分野ではなく、個人や家庭レベルの身近な環境の整備が求められている。
- ・駅周辺とその他の地域の差。地域の拠点整備(必要な情報の発信、収集ができる場所)の整備が必要。
- ・防犯、防災だけでなく、食生活などさまざまな環境で安心、安全の整備が必要。
- ・落ち着き、温かみを踏まえたまちづくりを推進していくのも良い。
- ・子どもたちの生活環境を改善させることで人が増えるまちにしてほしい。
- ・まずソフト面を整備したまちづくり。
- ・工業地帯と人が住みやすい場所のエリアの差別化を図ってほしい。
- ・貝塚はどちらかというとも駅から離れている(調整区域)。そのため、なかなか人が来ない。
- ・地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちに「おかえり」と言われながら帰ってくる子どもたちがいるまちに戻してもいいのかなと思う。

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見

- ・住民は、近隣市町村に目を向けて身の丈に合わないことを求めているのではないか。
- ・蓮田市の利点、良いところ、悪いところを住民自身が気づきにくい状況にある。
- ・市内外に限らず、人と人とが交流できる機会が増えるまちにしてほしい。
- ・拠点があるから人が来る。それを無視しないまちづくりを進める。
- ・警察署のあるまちづくりが良いと思う。
- ・子育てができる住みよい蓮田市はどうか。
- ・運動(ウォーキングなど)ができるようにまちを整備し、高齢者も健康になれるまちづくりが良いと思う。
- ・公園を利用したイベント(ラジオ体操)など、高齢層が参加したくなる交流の場づくりが必要。
- ・公共施設が点在せざるを得ない状況。連携できる循環場所が必要。
- ・郊外の高齢層を駅周辺に集め、若い世帯を郊外に安く住んでもらう仕組みづくり。

### ■生活環境について

- ・都市近郊でありながら、緑が多く、農業ができる環境が蓮田市の良いところ。
- ・生活環境(河川、道路)の整備が必要。
- ・道路状況などのハード面の整備が進んでいない。
- ・学校周辺の道路が狭い(救急車も通れない)ので、通学路の確保の整備をしてほしい。

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見

### ■ 産業について

- ・農家がある場所は重点的に畑を耕してほしい。
- ・農業後継者が少ない。30歳以下が5,6人しかいないなかで、この田畑、緑をどう後世に残すか。
- ・小中学校に味噌を配達するサービス(年2回)がある。
- ・蓮田サービスエリアに直売所を立てて、野菜を販売するのはどうか。
- ・蓮田サービスエリアのPRをもっとしてほしい。

### ■ 防災、防犯について

- ・市内100自治会のうち、自主防災組織は30程度しかない。もっと増えてほしい。
- ・被災が少ない蓮田市がどう防災に取り組めるか。
- ・個人レベルでの防災活動をしていくことが重要。
- ・街路灯がない暗いまちの印象を良くするために整備費を出して一気にLED化を進めてほしい。
- ・地域住民がまず声掛けするまちづくりが防犯面においても重要。
- ・どこが安心、どこが安全なエリアか市民に説明できる人(案内人、ガイド等)がいない。